

『国語・算数探検』講座のご案内

低学年のうちから大切にしたい“教科の学び”をかたちにした特別選択講座です！

国語

☐ 小学二年生のアキラさんと、妹のエミさんは、お父さんと話をしています。

アキラ 「おとな」といったら「子ども」のように、ことばの中には、組みになるものがあるけれど、どんなことばにも、組みになるものって、あるのかなあ。たとえば、「白」と組みになる色って、何だろう？」

「白」と組みになる色って何色だと思おう？」

アキラ

お父さん
黒はどうかな？
囲碁のばあいは、白と黒にわかれて遊ぶよ。

エミ
わたしは、赤だと思おう！
赤組と白組にわかれて歌うテレビ番組があるから。

アキラ 「そうか。『白』と組みになる色は、一つだけじゃなさそうだな。ほかにどんな色が考えられそうかなあ。」

課題
アキラさんは、「白」と組みになる色といったら、ほかに何色があるかなと考えています。あなたも「赤」や「黒」とはちがう色で、「白」と組みになる色を考えてみましょう。そして、その色だと考えたりゆいも書きましょう。

りゆう	色

答えは1つじゃない？

自分で自由に考えを広げ、理由とともに表現することにチャレンジします。

会話文やイラストを使い、楽しく学べるようにいざないます。



算数

2人は、2年1組の30人のうち、校庭であそんでいる人数を知ろうほうを考えた。

えりなさんは、まどから2年1組の人をさがして、数えはじめました。



わたしは、校庭であそんでいる人を見つけて、数えてみるよ。
1、2、3、4、…

あつしさんは、まず、教室にのこっている人の人数を数えはじめました。



ぼくは、校庭であそんでいる人数を、ひき算をつかって計算してみるよ。今、教室には、ぼくたちを入れて、5人がのこっているから、校庭で、あそんでいる人は、 $30 - 5 = 25$ だから、25人だね。

2人が考えたほうほうには、よいところもあれば、よくないところもあります。

2人が考えたほうほうの、どのようなところがよくて、どのようなところがよくないでしょうか。

つぎのひょうにまとめてみましょう。

どちらが正解とは決められない？

自分自身で、よいところ、よくないところの両面から考えてみるという体験をします。